

ほけんだより



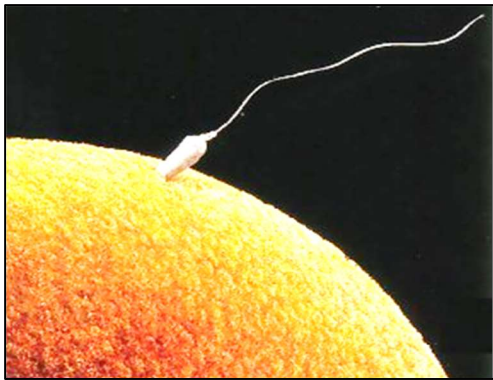
1年生 性教育特別号
門真市立第二中学校 保健室
令和6(2024)年12月10日

11月29日(金) 5・6限、門真市内で助産師をされているSさんにお越しいただき「いのちの授業」をしていただきました。授業内容の一部を紹介します。



「いのちってすごい!!」

いのちとは「一番大切なもの」「限りのあるもの」「他のものに変えられない」「受け継がれていくもの」みんなにはお父さんとお母さんがいて、お父さんとお母さんにもそれぞれのお父さんとお母さんがいて…10代さかのぼるとご先祖様の数は1024人。今のあなたはたくさんの人がいのちをつないできたから生まれてきたのです。



「いのちのはじまり…自分たちってすごい!!」

卵子は大きさ0.2mm。毎月1個排卵されます。寿命は1日です。精子は大きさ0.05mm。1回の射精で出される精子は3億です。その中で、卵子にたどりついて受精するのはたった一つの精子だけです。いのちのはじまりはまさに奇跡です。針の穴くらいの小さな小さないのち。受精卵の大きさをハートのカードで確認しました。



「おなかの中の赤ちゃんってすごい!!」

おなかの中の赤ちゃんの心音を聞きました。大人の2倍の速さで心音を打つのは、赤ちゃんがものすごいスピードで成長するからです。おなかの中では羊水を飲んで汚れたものをきれいにしておしっことして出します。音が聞こえます。産まれてくるときは、頭が下になり、ねじのように回転しながら産まれてきます。



「体験TIME」

赤ちゃん人形のだっこ体験を全員しました。首がすわっていない赤ちゃん人形を本当の赤ちゃんのようにおそるおそるだっこしている姿が印象的でした。また、1組の松浦さんが妊婦体験をしました。階段の昇り降り、寝転んだ状態から起き上がる体験をしました。「体が重いし、お腹で階段が見えなくてこわかった」と感想を言ってくれました。



【思春期のからだや心の変化について】

- * 思春期の体や心の変化は脳からホルモンが出て、異性が気になったりイライラしたりすることがわかった。ホルモンのせいで自分はそうになっているのかとわかり、自分をせめる必要がないことがわかった。
- * 昔は、まわりの目を気にしてなかったから自由に生きていたけど、今になって周りの目を気にするようになって不便だったけど、それも成長している証だと思った。
- * 自分が周りにどう思われているかで不安になったり、いろいろなことに興味がわいたりすることは、思春期の心の変化であることがわかった。



【いのちの誕生について】

- * 最初はめっちゃ小さかったけど、(赤ちゃん人形を)持ってみたとき、思ったより重かった。先祖の誰かがいなければ、自分は今生まれてこなかったことを知った。
- * カードをもらったときの穴がめっちゃ小さかったから、それがはじめのみんなの大きさだってわかってびっくりした。あんなに小さいのに成長していくのがすごいと思った。
- * (いのちの誕生は)生きてきて一番の感動だと思った。



【おなかの中の赤ちゃん、出産や子育てについて】



- * 出産している人や助産師の人のがんばりも伝わってくるけど、赤ちゃんの方も産まれるために一生懸命がんばって、出てこようとしているんだなと思った。
- * 子育ては生まれてからもオムツを替えることやミルク、母乳をあげるなど大変だから協力してやらないといけない。でも、子どもが成長するとうれしいから子どもは大切。
- * お腹の中に赤ちゃんがいて、ふだんかんたんにくれたこともかんたんにはできなくなったりして、大変だなと思った。



【全体の感想】

- * 子どもをさずかるのはすばらしいことだけど、望まない妊娠や中絶、性感染症など性交にはこわいところもたくさんあることがわかった。
- * 自分は生きているだけで感謝だと思った。もしかしたら生きていなかったかもしれないから、生きているのは当たり前じゃないと思ったから。
- * 体と心がつながっていて、それにともなって成長していく。自分たちはすごい「きせき」がつむがれて生まれた。
- * 命は本当に尊いもので、軽々しく妊娠したり、出産したりするものではないことがわかった。
- * 自分に子どもができるかわからないけど、もしできたら、その子のために最善をつくしてあげたいと思った。タバコをすったり、子どもに害があることはさげようと思った。自分も親が産んでくれた大切な命だから、自分もお兄ちゃんも大切にしておいて両親に感謝しようと思った。
- * 一番思ったのが今まで母ちゃんに反抗していたけど、出産のことをきいて感謝しようと思った。

